

小中学校の分離・新設までの工程は

神田 公司議員



神田 なぜ3、4年前しつかりした小中学校の分離・新設が決断されなかったのか。

市長 都市計画マスタープランが通るか通らないか分からない段階で、まだ私は決断する時期ではないというのが1つ。2つ目は財政。もう1つ基金を増設。その中で、ある程度のことができるようになれば、決断をしたと思うっていた。合併特別償が5年間延長になる。それぞれの状況下で決断ができる段階に、今なつた。

神田 新設に向けた工程は。

学校教育課長 今、医療刑務所跡地を適地と考え、九州財務局の方に要望書を出し、国有財産九州地方審議会に諮らなければならぬ。今現在九州財務局と協議をしている。最初に学



菊池医療刑務所跡地

校区割を決めていかないと規模等が分からない。その区割りの見込みを出し、住民、保護者説明会を踏まえて来年の6月くらいには決定を出したい。その後基本設計、実施設計に着手し、平成30年造成工事、31年32年度に校舎の建築をし、33年の4月までには開校を目指したい。

神田 分離・新設までの児童数は。

学校教育課長 合志南小は、今現在850人が31年度は1,140人、南ヶ丘小学校は683人が880人、西合志南小学校729人が906人、中央小学校は544人が573人、西合志東小は1,121人が1,159人。

神田 マンモス校が平成31年度には2校できる。この状況での増築でしのげるのか。

学校教育課長 今のところ分離・新設に力を向けて、それ以上に増えるいく部分については増築等で対応できる。

学校施設のゼロアスベスト対策を

濱元幸一郎議員



濱元 合志市は、文部科学省の通達に基づき、2005年、2014年の2回、学校施設におけるアスベストの実態調査を行っている。報告では、レベル1、レベル2のアスベストは発見されることがなかったと報告された。しかし、全国では調査済とされたにもかかわらず、見落とし、分析ミスが毎年のように発見されている。見落とし、分析ミスへの対策をしっかりと取ることが必要ではないか。100%、合志市の学校にはアスベストがないというのを自信を持って言えるようになってこそ、保護者、そして子どもたちが安心して学び過ごせる環境を作ることができ

学校教育課長 専門家の調査については、計画的な形で段取りをしていきたい。検討をさせてほしい。

非正規職員について

濱元 市で働く非常勤職員の方々の報酬は一律で昇給はない。通勤費用、時間外・休日手当もない。昨年7月、総務省自治行政局公務部長通知が出され、非常勤者の報酬、費用弁償の額、支給方法、給料及び手当、支給方法について条例で定めることが強調された。地方自治法、この通知に基づいて非常勤職員の方々の報酬、賃金、時間外・休日手当、通勤費用など、待遇も条例で定めて改善を進めることが必要と思うが見解は。

総務課長 通知の中で、時間外勤務手当については、本手当に相当する報酬を支給すべきである、留意すべき点となっている。通勤手当についても、通勤費用相当分について、費用弁償として支給できるとしている。県内各市の状況を参考にした上で、今後検討を要すると考えている。



るのではないか。専門家も入れた調査を行い、学校のどこにアスベストがあるかを認識し、日常的に管理することが大切ではないか。

堀川両岸の河川道路を整備・改善ができないか？

後藤 修一議員



後藤 堀川両岸の河川道路の管理者と管理状況は。

建設課長 堀川は2級河川であるため、その管理者は熊本県である。また、修繕や除草については、定期的に維持管理業務委託を実施している。

後藤 堀川の河川道路は健康増進のため、年々、ジョギングや散歩する人が増えています。ところが、梅雨の時期から雑草が生い茂り、また水溜りができたりで、環境が悪くなっているのも事実です。例えば、雑草が生い茂るとどうなるか。蚊や虫が増え健康障害をきたしますし、雑草が枯れると火事の原因にもなります。また、防犯の視点からも問題があります。老若男女、いつもあいさつ、笑顔が絶えない、地域住民のふれあいの場にするには市長の掲げる健



康都市こうしにぴったりです。そして、今年2月には須屋コミュニティで要望書を市長宛てに提出しています。ぜひ堀川両岸の河川道路の整備・改善を熊本県に要望してください。また、須屋浄化センターの跡地についても緑化、公園、グラウンド等健康・福祉の視点から須屋の住民と十分話し合い対応していただきたい。

市長 まず、堀川の河川道路、これは先ほど課長が答弁したように、地域振興局の方とは前向きに、早い段階で防災・防犯面の上でということを整備をしたいということの報告は聞いております。私からも再度、27年度中に一定のところは完了してほしいと、再度要請をいたしました。

後藤 堀川両岸の道路の整備・改善と須屋浄化センター跡地の利活用は、私はセットだと思っております。まさに地方創生、地方を元気にする絶好の機会ではないでしょうか。そして、将来の子供たちにも本当に希望を持って素晴らしい環境の須屋をつくっていただきたいと考えています。

黒石原奉安殿の歴史的価値とは

上田 欣也議員



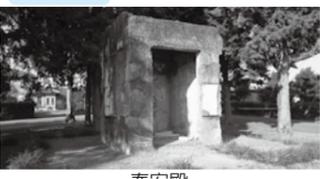
上田 教育委員会会議録を読むところでは、市指定文化財として認められたものと理解していたが。

生涯学習課長 文化財指定の条件の一つである土地の所有者の承諾が得られていないため市指定文化財ではない。

上田 歴史的価値を本当に認めているのか。

生涯学習課長 歴史的価値はある。現在の所有者である自治会と移転、復元等も含めて今後相談したい。

上田 歴史はその土地に固有のもの。そこに住む人たちに直接結びついていく。奉安殿は戦争を学ぶことにつながる遺跡だ。保存について、どう地元と調整をはかるのか。



奉安殿

生涯学習課長 なるべく早い時期に方針を出したい。

かえでの森こども園について

上田 合志市の保育行政の中でのか

えでの森こども園の位置づけは。子育て支援課長 恵楓園入所者の方の希望であり、心よりどころでもある。今後も継続的に安定した運営ができるように支援していきたい。認可保育園になれば、運営費等の助成が受けられ、安定した運営ができることになる。

上田 かえでの森こども園は認可保育園にすべきというところか。

市長 5年以内に認可保育園にする約束はしてある。御代志駅近くの自治会の土地を候補に検討している。

上田 御代志駅前再開発によって場所的に変わってくることはあるか。

市長 必ずそこで建てられるという事前協議が整うことが前提。御代志駅前とは、別の事業でやりたいと思っている。

上田 ハンセン病についての学習機会の提供についてどう考えるか。

人権啓発教育課長 今後さらに関係機関と調整をはかり、菊池恵楓園が市民に身近な存在となるような取り組みを進めたいと考えている。